

コープ・ノース 2 3 における日米豪共同訓練の実施について

このことについて、防衛省北関東防衛局から、下記のとおり情報提供がありましたので、お知らせします。

なお、横田基地周辺市町基地対策連絡会は、下記のとおり口頭要請を行っております。

記

1 コープ・ノース 2 3 における日米豪共同訓練について

(1) 情報提供内容

別紙のとおり

(2) その他

ア 訓練概要

本訓練は、グアムを拠点とし、日米豪にて 2 0 1 1 年以降毎年実施している、戦術技量の向上や人道支援・災害救援を目的とした共同訓練です。

今年度においては、訓練期間中、公表資料中（別紙）の実施場所（5）海上自衛隊硫黄島航空基地において、横田基地及び入間基地から輸送機による硫黄島への人員及び物資輸送等を予定しております。

イ 実施内容

硫黄島への支援物資の輸送・積卸訓練、燃料給油訓練等

ウ 実施期間

2 月 2 1 日（火）から 2 2 日（水）まで

エ 参加規模

横田基地：米空軍C-130J×1機（米軍人約20名が搭乗）

入間基地：空自機C-130H×1機

（自衛隊員約20名、豪軍人約10名が搭乗）

オ 補足事項

横田基地及び入間基地における早朝または夜間の離発着、車両等の持ち込みは予定しておりません。

2 口頭要請内容

(1) 要請日

令和5年1月30日（月）

(2) 要請先

北関東防衛局長

(3) 要請内容

コープ・ノース23における日米豪共同訓練の実施にあたり、次の事項について、訓練に関わる自衛隊に周知するとともに、米軍横田基地に申し入れるよう要請します。

- 騒音が大幅に増加することがないよう周辺住民に十分配慮すること。
- 市街地上空での低空・旋回訓練は行わないこと。
- 基地外に影響を及ぼさないよう安全対策の徹底を図ること。
- 通常の運用時間帯以外での航空機の運用を極力実施しないこと。

(お知らせ)

令和5年1月27日
航空幕僚監部

コープ・ノース23における日米豪共同訓練の実施について

航空自衛隊は、下記のとおり、「自由で開かれたインド太平洋」の維持・強化に資するため、コープ・ノース23における日米豪共同訓練を実施します。

記

1 目的

日米豪の共同訓練を実施し、実戦的訓練環境の下、部隊の戦術技量、日米共同対処能力及び参加国間の相互運用性の向上を図る。また、日米豪の3カ国にフランス及びカナダも加えて人道支援・災害救援活動に係る共同訓練を実施し、部隊の能力及び参加国間の連携要領の向上を図る。

2 期間

令和5年1月23日(月)～同年3月4日(土)
(訓練期間：令和5年2月8日(水)～同年2月24日(金))

3 実施場所

- (1) アメリカ合衆国グアム島
- (2) アメリカ合衆国北マリアナ諸島
- (3) 前2号に規定する場所の周辺空域
- (4) パラオ共和国ロマン・トメトウチェル国際空港
- (5) 海上自衛隊硫黄島航空基地

4 主要参加部隊等

第8航空団(築城)、第9航空団(那覇)、航空戦術教導団(百里等)、航空救難団(入間等)、警戒航空団(浜松)、第1輸送航空隊(小牧)、第2輸送航空隊(入間)、第3輸送航空隊(美保)、航空保安管制群(府中)、航空気象群(府中)及び航空機動衛生隊(小牧)

F-15J/DJ×6機、F-2A/B×6機、UH-60J×1機、E-767×1機、K/C-130H×2機及びKC-767×1機(人員約500名)

5 主要訓練項目

防空戦闘訓練、戦術攻撃訓練、空対地爆撃訓練、搜索救難訓練、戦術空輸訓練、物料投下訓練、即応機動訓練、警備訓練、滑走路被害復旧訓練及び航空医療搬送訓練

6 その他

新型コロナウイルス感染症への必要な対策を行い実施します。